

コイノニア

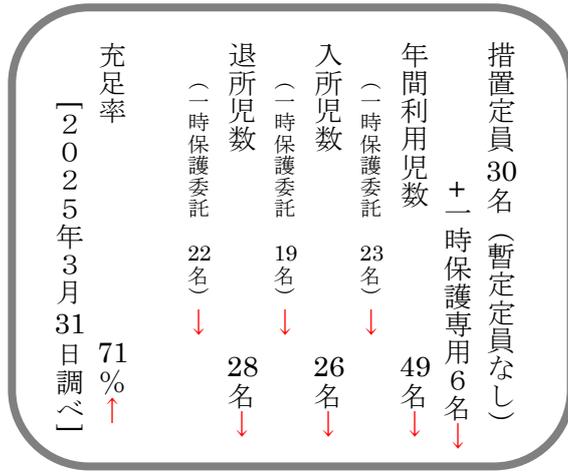
# まつま 乳児院

## 2024年度

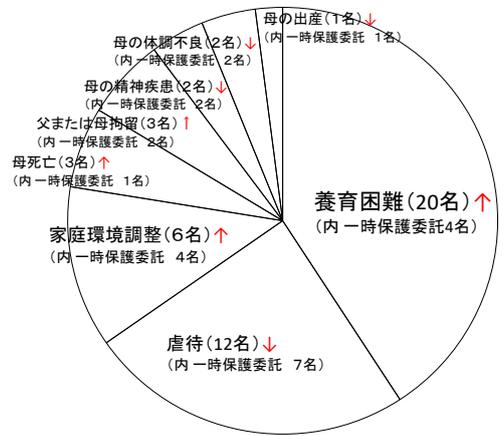
### 事業報告



院内幼稚園2年目の  
入園式を執り行いました



〔年間利用児 49名の入所理由〕



〔退所児 28名の退所理由〕

- 家庭引取 19名 ↓
- 施設変更 3名 ↓
- 里親委託 1名 ↓
- ファミリーホーム 0名 ↓
- 一時保護から3号措置への変更 5名 ↑

### 《処遇について》

本年度より定員40名から定員30名に変更となり、それに加えて一時保護専用施設(定員6名)の開設となった。

入所受入のキャパシティについては28名を目標として受け入れ態勢作りをしていたが、年間の平均在籍児童数は25.6名であった。これは、国の施策の反映であり、今後とも措

置入所児の漸減傾向は続くと考えられる。

1. 〈愛着形成〉への取り組み
2. 〈発達障害〉への支援
3. 被虐待児への心理療法の実施
4. 家庭支援機能の強化
5. 〈施設内幼児教育プログラム〉の立ち上げと推進
6. 子どもの意見聴取等の仕組みの整備
7. 安全計画の実施

### 《人的対策について》

ケアの質の向上を図るため、法人内研修・院内学習会を中心とした研修で職員のスキルアップを行った。外部研修は23件(オンライン研修4件を含む)であった。

### 《その他》

1. 地域における公益的な取り組みについて
  - 新型コロナウイルス感染症対策の緩和に伴い、実習生やボランティアの受入を再開した。
2. 第三者評価について
  - 福祉サービス第三者評価の自己評価を行った。

(2024年11月25日実施)

《苦情・要望》

2024年度 1件

《内容》保護者より、面会時に吐いた内容物（角切りの人参）が触ると固かったため、注意してほしいと申し出があった。

《対応》調理の段階から歯茎でつぶせる固さで提供するようにしていたが、今後は個別に病気の時や段階を上げて食べにくそうな時は、必ずすり鉢を食膳に付け、潰して噛みやすいように介助することとし、全体職員会で周知した。保護者に改善策を伝え、対応内容について理解を得た。

2025年度

事業計画

【本年度の事業計画】

【処遇計画】

1. 《愛着形成》への取り組み
2. 《発達障害》への支援
3. 《病虚弱児》と《虐待トラウマ》ほか心身に後天的発達阻害要因を抱える児童への専門的ケアを実施する。具体的方策として心理職員を増員し、2名体制で子どもの心理状態を把握し、生活セラピーを実施していきたい。
4. 児童養育家庭への早期復帰を目指すした《家庭調整》を、家庭支援専門相談員他「一時保護専用施設」担当者及び「個別対応職員」を通して実施する。また、措置変更や里親委託に備えた連携体制を図りたい。

できるだけ創意工夫して取り組んでいきたい。

職員研修については、外部での研修を積極的に進めていくとともに、施設内での研修もより実践に活かせるものとしてその内容を充実させて、職員のスキル向上を図っていきたい。職員健診については、希望者には年2回の詳しい健康診断を実施することで職員を健康面からサポートし、安心して業務に取り組めるよう支援して行きたい。

【その他の計画】

1. 地域における公益的な取組の計画

- ・実習生の受け入れ
- ・ボランティアの受け入れ
- ・施設見学の受け入れ
- ・地域養育支援センター

開設に向けて準備を進め、地域の子育て家庭の支援に取り組んでいきたい。

2. 福祉サービスの「第三者評価」の実施

本年度「第三者評価」を受審する。

お母さんの産後ケアにショートステイの活用啓発

お母さんの産後うつ等の深刻な事案の増加に鑑み、下記のポスターを作成し、県下の産婦人科に掲示の協力を呼びかけました。一人でも多くの、不安を抱えたお母さんに、頼れる場所があることを知って欲しいと願います。

5. 《施設内幼児教育プログラム》の立ち上げと推進
6. 子どもの意見聴取等の仕組みの整備
7. 安全計画の実施

【人的対策】

職員数は利用児童の減少に伴い、今後さらに減少していくものと予想されるが、これまでより少ない職員数でも必要十分な高度なケアが実践

# バルサン消毒の一日

乳児院では、5月と10月に「バルサン消毒」と呼ばれる大掃除を実施します。昨年度は、天候に恵まれず中止が相次ぎ、今年5月、全面小規模化後初めての「バルサン消毒」が行われました。  
乳児院を挙げての大騒動(?)の一日をご紹介します。

まず前日から、室内の動かせる荷物という荷物を屋外に移動させます。

当日の午前中、1歳から4歳の子どもたちは、院外保育に出かけます。1歳未満の乳幼児は本館2階の親子の部屋に移動。



中庭



1階ベランダ



2階ベランダ



2階渡り廊下

1歳児は道後公園へ



親子の部屋



2~4歳児は東温市総合公園へ



バルサンを炊き、換気が終わったお昼寝タイム、はぐくみの家で、大掃除開始です。

まずは掃除機がけ、その後酸性水で床のみならず、壁、窓、棚の中、隅々まで二度拭きします。



掃除が終わったら荷物の搬入。相談室職員や事務職員もお手伝い。



## 《参加した職員の声》

はぐくみの家でのバルサンは初めてでした。本館と違い、バルサン後に虫の死骸が無かったことに驚きました。物の出し入れ、その後の拭き掃除等たいへんでしたが、普段できないところの掃除ができ、良かったと思います。

バルサン中は子どもたちとバスでハロウインの森へ行きました。大きなバスにドキドキする子、わくわくする子と様々でしたが、大きな公園に着くと子どもたちみんなが嬉しい声をあげ、たくさん体を動かし、楽しく過ごし、良い経験になりました。

(1階ホーム職員 Yさん)

もうすぐ帰れるからね～  
もうちょっと待っていてね～



こうして乳児院の「バルサン消毒」は終わります。職員全員疲労困憊ですが、きれいになったおうちで子どもたちに安心して過ごしてもらえよう、これからも頑張ります！

コイノニアホールにて  
**里親フォローアップ研修を  
 初開催!**

5月28日、コイノニアホールで、えひめ里親サポートセンター（エフスク）によるフォローアップ研修が行われました。



乳児院処遇統括 渡部さんによる講義  
 「アタッチメントについて」  
 ～目をかけ、手をかけ、心をかける～

ちょっとひと息  
 リラクゼーション  
 タイム



スタッフを交えての  
 グループ討議

以前から計画してきた「里親フォローアップ研修」が開催されました。初回は、子育てにとっても大切な「アタッチメント」をテーマに、松山乳児院の渡部心理士を講師にお招きしました。その後はグループに分かれて講義内容を基に話し合い、大いに盛り上がりました。今後は「社会的養護児童への理解」「トラウマケア」「救命救急」「入浴介助」など、講義や実習を織り交ぜて研修を計画しています。



元乳児院職員  
 エフスク研修担当  
 森下 桂一朗



学習  
 支援

8月1日より、当法人に新施設「コイノニアクラブ」が加わります。コイノニアクラブは、家庭や学校に居場所のない小学校低学年の児童を自宅や学校へお迎えに行き、居場所となる場を提供し、食事や入浴を含めた生活支援、学習支援を行い、家庭まで送り届けるサービスを提供します。保護者の相談対応や関係機関との連携も図り、これまで支援の手が届きづらかった児童家庭を取りこぼさない支援を目指します。



生活  
 支援



コイノニアクラブ  
 開設準備に奮闘中  
 乳児院職員  
 山村 温路

乳児院本館1階にて  
 松山市児童育成支援拠点事業  
**「コイノニアクラブ」8月開設**

〒791-8016  
 発行所 松山市久万ノ台一七三  
 社会福祉法人コイノニア協会  
 松山乳児院  
 電話(089)922-9720

- 【今後の行事予定】
- 7月 七夕・プール開き
  - 8月1日コイノニア記念会
  - 10月 地方祭
  - 歯科健診・インフルエンザ予防接種(〜11月)
  - 11月 収穫感謝祭
  - 児童健診
  - 12月 クリスマス祝会



院内幼稚園  
 園児の作品  
 「絵の具を使った自由画」